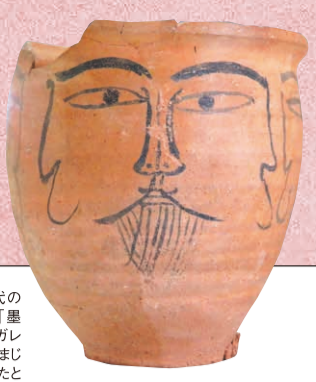


てくてく 春のミュージアム散歩

土樋～米ヶ袋～川内界隈

春の陽気に誘われて、のんびりゆったり仙台散歩。
 “街を歩けば歴史にぶつかる”。
 ミュージアムとあわせて訪ねたい、
 生粋の仙台人も思わずなるほど!の
 スポットをご紹介します。



START 01

福島美術館

仙台の実業家・福島家が3代にわたってコレクションした作品3000点を収蔵。伊達政宗公の書状をはじめとする、伊達家旧蔵品の書画や工芸品など見ごたえのあるものばかり。“街のちいさな美術館”として、地元から愛されています。

〒980-0822 仙台市若林区土樋288-2
 ☎022-266-1535
 9:00～16:30
 休 月曜、第1日曜、祝日の翌日
 常設展100円 / 企画展 一般400円 / 学生・70歳以上300円



常設展で見ることができる「二挺天符櫓時計」は伊達家から伝わったとされる、江戸時代の和時計

美術館すぐそばの
 広瀬川遊歩道も
 散歩におすすめです!

学芸員
 尾崎まゆみさん



東北学院大学博物館

考古学や民俗学、中世史、近世史など東北学院大学文学部歴史学科の研究成果を紹介する博物館。考古遺物や中世史の板碑、近世の古文書、民具などの貴重な資料が分かりやすく展示されています。実習拠点として、学生たちが展示資料の調査や展示法を学び、企画展を行うことも。

〒980-0822 仙台市青葉区土樋1-3-1
 ☎022-264-6920
 9:30～17:00
 休 日曜、祝日、大学の定める休業日
 一般200円



奈良～平安時代の風習で用いられた「墨書人面土器」。ケガレ(穢れ)や災いを払うまじないとして川に流したとされるもの

学生たちが
 創意工夫しながら
 展示しています!

東北学院大学
 歴史学科
 3・4年生



米ヶ袋縛地蔵尊

仙台藩で起こった「伊達騒動」で、お家乗っ取りを企てた伊達兵部宗勝を討とうとして捕らえられ、刑に処された仙台藩士の伊藤七郎の供養のために建立されたと伝わる地蔵尊。“人間のあらゆる苦しみを取り除いてくれる”と信じられ、願掛けとして縄で縛られています。

〒980-0822 仙台市青葉区米ヶ袋3-5-13
 見学自由



阿部次郎記念館

元東北大学教授で、大正から昭和期の学生たちのバイブルだった『三太郎の日記』の著者・阿部次郎の蔵書や草稿、講義ノートなどを収蔵。親交があった夏目漱石から届いた手紙なども展示されています。

〒980-0822 仙台市青葉区米ヶ袋3-4-29
 ☎022-267-3284 10:00～16:00
 休 日・月曜、祝日、月末日 入館無料



本多会館

KS鋼をはじめとした、鉄や金属に関する重要な研究を発表し「鉄の神様」といわれた、本多光太郎元東北大学総長が暮らしていた邸宅。総木造の邸宅は現在、公開施設として保存活用されています。

〒980-0822 仙台市青葉区土樋1-6-11
 ☎022-217-4905
 ※見学希望者は要問合せ。平日のみ見学可



米ヶ袋鹿子清水通り

八幡の「山上清水」、国分町～立町の「柳清水」とあわせ仙台三清水と称された「鹿子清水」。清らかな水が湧き出る様子を見ることはできませんが、今でもこのマンホールの下を滔々と流れているのだとか。

米ヶ袋遊歩道

広瀬川に沿って整備されている遊歩道は絶好の散歩コース。春はとほころで桜が咲くほか、対岸の断崖のダイナミックな景観が楽しめます。川の瀬音や鳥のさえずり、草花の香りに癒されます。

米ヶ袋在住のボニー「ボーちゃん」のお散歩タイムに遭遇することもあります!



魯迅故居跡

近代中国文学の父・魯迅が仙台医学専門学校(現東北大学医学部)入学当初、2か月間下宿していた「佐藤屋」の跡。100年以上前の建物が往時のままの姿で残っています。

〒980-0822 仙台市青葉区米ヶ袋1-1-11
 ※現在は個人宅のため外観のみ見学可



View

魯迅故居跡をあとにして、仙台高等裁判所に向かいながら左手を見ると、眼下には広瀬川が。左の森は政宗公はじめ、伊達家3代の御廟・瑞鳳殿がある経ヶ峰。



仙台高等裁判所のヒガンザクラ・コウヤマキ

仙台が「杜の都」と呼ばれるようになったのは明治後期から大正のこと。藩政時代から守られてきた武家屋敷の屋敷林が緑豊かに生い茂っていたことからその名がついたといわれています。その屋敷林のほとんどは空襲で焼失しましたが、仙台高等裁判所の敷地内のヒガンザクラ(推定樹齢250年)、コウヤマキ(推定樹齢300年)はその名残を今に残す名木です。「杜の都」のルーツがここに。

〒980-0822 仙台市青葉区片平1-6-1
 ※開庁時間内は見学自由。敷地内は撮影禁止



GOAL 10 仙台市博物館

伊達家から寄贈された資料を中心に、仙台地方に関する歴史・文化資料、約9万点を収蔵。仙台が栄えてきた背景をさまざまな資料で見ることができます。伊達政宗の命をうけ、支倉常長がスペインやローマを目指した慶長遣欧使節の関係資料の一部は2013年にユネスコの世界記憶遺産に登録されています。

〒980-0822 仙台市青葉区川内26
 ☎022-225-3074 9:00～16:45(入館は～16:15)
 休 月曜(祝日の場合は翌平日) 一般460円、高校生230円、小・中学生110円



今年伊達政宗 生誕450年の記念の年、特別展も開催されます!

学芸普及室長
 菅野正道さん

政宗所用のモダンな南蛮風デザインが珍しい重要文化財「山形文様陣羽織」



Check!

旧大橋の橋脚

川沿いの道から大橋の橋脚の下をよく見るとレンガの土台が。これは現在の橋の1代前、明治25(1892)年に竣工した橋の橋脚が残ったもの。



Check!

追廻地区の石垣

追廻地区に約420m続く石垣には江戸時代に築かれた部分が相当残っています。仙台城の一番外側にあった石垣として、市指定の文化財「奥州仙台城絵図」(仙台市博物館所蔵)にも描かれています。

Check!

森の香本舗

季節感大切に生菓子や干菓子など、目にも美しい和菓子を販売。大納言小豆のこしあんがたっぷり包まれた白まんじゅうは、上品な甘さとしっとりした皮が美味。

〒980-0822 仙台市青葉区大町5-5
 ☎022-223-1314 9:30～18:00
 休 月曜、第2・4日曜

GOAL 09

まんじゅう 1個110円(税別)



学芸員の
 オススメスポット
 入り

てくてく MAP

土樋～米ヶ袋～川内界隈



ランチも評判の
 ワインバー。
 Danae